

平成27年度当初予算 施策 取組概要

323 地域の価値と魅力を生かした産業の振興

(主担当部局：雇用経済部)

- 32301 地域資源を活用した産業の振興 (雇用経済部)
- 32302 新たなビジネスの創出等の促進 (雇用経済部)
- 32303 地域の特性に応じた商業の振興 (雇用経済部)
- 32304 経営基盤の強化 (雇用経済部)

県民の皆さんとめざす姿

地域の中小企業者等が、経営環境の変化をふまえて自らの創意工夫や地域が持つ価値や魅力など地域資源の活用により、新たな事業活動を活発に行うことで地域の産業が活性化しています。

平成27年度末での到達目標

地域資源を活用した新たな産業創出に向けた取組が増えてきている中、さまざまな主体が活力を結集して地域づくりを進め、地域の中小企業者等が自らの経営革新、地域資源を活用した新商品の開発および販路開拓への積極的なチャレンジや、市町の取組と連携した商店街等の魅力向上により、地域産業の活性化が図られています。

| 県民指標 | | | | | | |
|---|--|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|
| 目標項目 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | 27年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 |
| 地域資源活用 関連産業の製 造品出荷額等 の伸び率 | 100 (22年) | 103 (23年) | 106 (24年) | 109 (25年) | | 112 (26年) |
| | | 100 | 102 | | | |
| 目標項目の説明と平成27年度目標値の考え方 | | | | | | |
| 目標項目 の説明 | 工業統計調査産業分類における地域資源活用関連産業分野（食料品製造業、木材・木製品製造業、陶磁器・鋳物製造関連）の製造品出荷額等の平成23年（平成22年実績数値）を100とした場合の伸び率（経済産業省「工業統計調査」） | | | | | |
| 27年度目標 値の考え方 (みえ県民カピ ジョン記載内容 を転記) | 近年の経済情勢から減少傾向にある中（平成18年から21年の4年間で9.5%減。）、県内の事業者等が地域の資源など価値や魅力を活用して産業の活性化に取り組むことを推進していくことにより、年平均3%の伸びを目標値として設定しました。 | | | | | |

| 活動指標 | | | | | | | |
|---|--|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基本事業 | 目標項目 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | 27年度 |
| | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 |
| 32301 地域資源 を活用した産業 の振興（雇用経 済部） | 地域資源を活用 した新商品を開 発し、売り上げ につながった企 業数（累計） | — | 10社 | 20社 | 30社 | | 40社 |
| | | | 11社 | 26社 | | | |
| 32302 新たなビ ジネスの創出等 の促進（雇用経 済部） | 新しい商品・サ ービス等の創出 件数（累計） | — | 10件 | 20件 | 30件 | | 40件 |
| | | | 10件 | 22件 | | | |

| 基本事業 | 目標項目 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | 27年度 |
|-----------------------------|-------------------------------------|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 |
| 32303 地域の特性に応じた商業の振興（雇用経済部） | 商業活性化の取組により集客増や収益向上に結びついた事業者等の数（累計） | | 3者 | 6者 | 9者 | | 12者 |
| | | — | 3者 | 6者 | | | |
| 32304 経営基盤の強化（雇用経済部） | 商工団体等の支援により新たな事業展開に至った件数（累計） | | 160件 | 320件 | 485件 | | 650件 |
| | | — | 155件 | 324件 | | | |

進捗状況（現状と課題）

- ①伝統産業・地場産業など地域資源を活用した産業振興のため、平成25年度に取り組んだデザイナー等との連携事業で製作された商品について、国等の各種支援制度の活用を促すなど、販路開拓を見据えたブラッシュアップを支援しました。また、ラジオ放送を活用するなどして、首都圏等における新商品の情報発信を行うとともに（各種支援制度採択結果12件、情報発信6回）、優れた商品開発の気運を高めるため、「三重グッドデザイン（工芸品等）選定制度」を創設し、機能性、デザイン性の優れた革新的な商品を募集しました。さらに、新たな事業者間のマッチングによる商品化等の支援（6件）や首都圏等への出展、後継者育成に係る取組に対して補助金の交付決定を行いました（2件）。
- ②県内事業者が、「みえ地域コミュニティ応援ファンド」等を活用し開発した新商品のブラッシュアップや販路開拓につなげていくため、三重テラスにおいてテストマーケティングを実施しました。また、県内集客拠点であるサービスエリア等で運営している事業者との商談会、魅力ある商品づくりため事業者を対象としたブラッシュアップミーティングを開催しました。今後、商品のブラッシュアップのほか、事業者の自律的な事業展開を促していく必要があります。
- ③地域資源を活用した新商品開発や販路開拓支援のため「みえ地域コミュニティ応援ファンド」や「みえ農商工連携推進ファンド」を活用し、県内事業者を支援しました（10月末時点26件採択）。今後も引き続き、国、県等の各支援制度などの情報提供やフォローアップを行っていく必要があります。
- ④三重の「食」や「食文化」を発信し、「食」に関する産業振興を図るため、「みえ食の逸品フェア」および「食の文化シンポジウム」を10月に開催しました。今後は、「みえ食のサミット」の開催（平成27年1月開催予定）に向けて、関係事業者・関係機関の連携強化を図り、活動の基盤づくりを行っていく必要があります。
- ⑤平成27年7月開催のミラノ国際博覧会への出展を検討するための事前可能性調査（FS調査）を実施しました。今後、調査結果を受けて、事業計画を検討するなど具体的な準備を進める必要があります。
- ⑥主要国首脳会議（サミット）関係閣僚会合の誘致に向け、10月に官民一体となった組織として、「2016年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立しました。今後、誘致に向け、関係省庁に要望活動を行っていく必要があります。
- ⑦5月27日に開催された全国菓子工業組合連合会の総会において、第27回全国菓子大博覧会が平成29年に伊勢市で開催されることが正式決定されました。今後の取組について、三重県菓子工業組合、伊勢市等の関係者と協議を行っていく必要があります。
- ⑧県内企業経営者や経営幹部、次期経営者、支援機関担当者等から聴取したニーズや課題を踏まえ、県内産業を牽引していくトップクラスの経営人材の育成をめざす「MIE戦略経営塾」を9月に開講するとともに、業種や系列を超えた経営者間のネットワークづくりに取り組む「みえ経営者育成セミナー」を開催しました。今後は、受講生に対するフォローも含め支援機関等と連携しながら取り組んでいく必要があります。また、6月には、（公財）三重県産業支援センター内に国の事業引継ぎ支援センターが開設され、その活用などについて周知していく必要があります。

- ⑨サービス産業に携わる事業者の多くは、経営資源が乏しく、独自で人材育成をすることが困難であり、新たに付加価値の高いサービスに取り組むうえで課題となっています。今年度は、県として食の産業振興に重点的な取組を進める中で、観光分野の誘客等にも影響力の大きい飲食業、宿泊業などの食に関わるサービス産業の中核人材を対象に、企業として付加価値の高いサービスを提供するための「おもてなし経営」をテーマとする連続講座を開催します。
- ⑩平成 26 年 4 月に、「三重県版経営向上計画」認定制度を創設し、申請の受付を開始しました（10 月末時点認定件数 20 件）。また、6 月には、(公財)三重県産業支援センターが、企業退職人材等 5 名を同計画の作成支援等を行う地域インストラクターとして採用し、県内 5 地域（北勢・中南勢・伊勢志摩・伊賀・東紀州）に配置しました。
- ⑪ I C T ・ビッグデータの活用については、観光・健康・共通基盤のワーキンググループにおいて、3 月に参画企業から提案のあったテーマについて、実証実験に向けた検討を行うとともに、I C T を利用した「医食連携」について方向性を検討しました。今後も、引き続き新たなビジネスモデルにつながるよう検討を進める必要があります。また、県の保有する情報のオープンデータ化については、「庁内オープンデータ推進ワーキンググループ」において、国の戦略に準じながら段階的にオープンデータ化を進めるなどの取組方針の検討を進めました。
- ⑫商店街をはじめとする地域の商業活性化を進めるため、これまでに蓄積した商店街活性化の方策等の情報提供や専門家の派遣を行いました（10 月末時点 6 回派遣）。また、商店街を活性化する事業に対して、補助事業の公募を行いました（10 月末時点申請件数 1 件）。なお、商店街によっては、活性化のためのノウハウや資力の不足、高齢化による後継者不足等といった課題を抱えていることから、それら課題を抱える商店街等に対して、市町と連携して支援していく必要があります。
- ⑬平成 26 年 4 月に「三重県中小企業・小規模企業振興条例」を施行し、キックオフ集会などを開催し、条例の周知を図りました。また、5 月に、中小企業・小規模企業の振興について、地域の経済の実情に応じて具体的かつ計画的に推進するため、県内 5 地域（北勢、中南勢、伊勢志摩、伊賀及び東紀州）において、「みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会（会長：副知事）」を立ち上げ、条例の推進体制を構築するとともに、地域における課題について各地域の団体・機関の長による意見交換を行いました。さらに、9 月に、協議会構成機関の実務者等で構成される分科会を開催し、国・県・市町の支援施策を共有するとともに、連携事例の発表や意見交換など地域における連携のきっかけづくりに取り組みました。今後は、この分科会において、条例の具現化に向けた施策の検討を行っていく必要があります。
- ⑭商工団体等の経営指導員のネットワークづくりの場として、経営指導員等ネットワーク会議を伊勢市と伊賀市で開催しました。また、小規模事業者等が連携して行うトライアル補助金について 6 件の事業を採択し、商工団体が地域課題解決に向けて行う地域特性活用促進事業補助金は 1 件の事業を採択しました。今後は、事業実施後のフォローも含めた一貫した支援に取り組んでいく必要があります。
- ⑮スタートアップ都市推進協議会の事業のひとつである首都圏を中心とした大企業や投資家等の支援家と県内のベンチャー企業とのマッチング交流会（12 月開催予定）に向けて、委託業者と今後の事業展開、スケジュール等意見交換を実施しました。また、高校生に向けたチャレンジマインド教育講演会を開催しました。引き続き、マッチング交流会に向けて準備を進めていく必要があります。
- ⑯平成 26 年 10 月末時点の県単融資制度の新規融資実績は、534 件、約 63 億円であり、県単融資制度は、多くの中小企業に利用されています。国内経済が本格的な回復に向かう中、県内中小企業の資金ニーズは落ち着いてきたものの、県内中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しさが続くと思込まれることから、資金供給を円滑化し、中小企業が経営の安定を図ることができるよう引き続き支援していく必要があります。

平成 27 年度の取組方向

- ①デザイナー等との連携事業等で開発された商品について、首都圏や海外を見据えた商品へとブラッシュアップするとともに、販路開拓につなげるなど、事業者の状況に応じたきめ細かな支援に取り組みます。また、「三重グッドデザイン（工芸品等）選定制度」により、伝統を守りつつ革新的な商品開発の気運を高め、地域経済の活性化とデザインの振興に資する取組を促進します。
- ②県内事業者の地域資源を活用した商品のブラッシュアップや販路開拓につなげていくため、引き続き県内集客拠点での商談会やテストマーケティング等の機会を提供するとともに、事業者の自律的な事業展開を支援します。
- ③国、県等の地域資源活用に係る支援施策の普及啓発ならびに「地域コミュニティ応援ファンド」等を活用しての販路を見据えた商品開発アドバイスなどのフォローアップ活動を行うことにより、県内事業者の新商品開発や販路開拓等の活発な事業活動を支援します。
- ④「みえ食のサミット」を通じて形成するプラットフォームを活用し、「食」に関する情報発信や人材育成・商品開発などを支援し、三重の食の産業振興を進めていきます。
- ⑤ミラノ国際博覧会への出展については、事前可能性調査（F S 調査）結果を踏まえ、出展に向けたプロセス、展開の手法などを検証しながら準備を進めます。
- ⑥サミット関係関係会合の開催に向け、関係団体、関係省庁とともに、受け入れ態勢の整備を行うほか、効果的な情報発信を行えるよう準備を進めます。
- ⑦全国菓子大博覧会については、関係市町、三重県菓子工業組合等と議論しながら、世界に向けた情報発信の場として、より効果的なものにしていくよう取り組みます。
- ⑧県内企業における経営人材の育成や人的ネットワークづくりについて、継続して取り組み、また、国の事業引継ぎ支援センターを活用し、後継者問題や具体的な事業引継ぎに困っている県内中小企業・小規模企業の円滑な事業承継の支援に取り組みます。
- ⑨飲食業、宿泊業などの食に関わるサービス産業の中核人材を中心に、「おもてなし経営」に関する実践的な連続講座を引き続き開催し、志が高く、意欲ある中核人材によって形成された事業者間のネットワークづくりを促進します。
- ⑩「三重県版経営向上計画」認定制度を引き続き活用し、県内中小企業・小規模企業の経営の向上を支援します。
- ⑪「みえ ICT を活用した産業活性化推進協議会」について、参画企業から提案のあったテーマの検討を進めるとともに「アグリワーキンググループ（仮称）」など新たなワーキングの設置などの検討を進めていきます。また、県が保有する情報のオープンデータ化については、推進協議会を通じて、企業ニーズの把握や、オープンデータの新たな活用方法など、オープンデータ化の推進に向けた取組を進めていきます。
- ⑫商店街をはじめとする地域の商業活性化を進めるためには、地域のインフラ基盤として捉えていく必要があることから、市町と連携して、まちづくりと一体となって、商店街を活性化するための勉強会や店主等のネットワークづくりなどの取組を引き続き支援します。
- ⑬みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会の運営について、協議会構成機関の実務者で構成される分科会で、中小企業・小規模企業が抱える課題の把握や解決策の検討等を行い、条例の具現化に向けた連携体制や支援施策、情報発信に取り組みます。
- ⑭商工団体等の経営指導員等ネットワーク会議を通じて、中小企業・小規模企業のニーズや課題に関する情報共有を一層促進し、各商工団体が展開しようとする新たな取組などの状況を踏まえながら、引き続き支援やフォローアップに取り組みます。
- ⑮スタートアップ都市推進協議会の事業を通して、首都圏を中心とした大企業や投資家等の支援家と県内のベンチャー企業とのマッチングの促進や、学生向けのチャレンジマインド醸成教育に取り組んでいきます。
- ⑯国内経済が回復し、本県経済にも緩やかな回復が見られる中、県内中小企業を取り巻く経営環境には厳しさが残っていることから、引き続き、企業の前向きな取組を金融面から支援します。

主な事業

①（一部新）伝統産業・地場産業新たな市場開拓促進事業

【基本事業名：32301 地域資源を活用した産業の振興】

予算額：(26) 10,567千円 → (27) 11,485千円

事業概要：伝統産業・地場産業の直面する、ライフスタイルの変化等による需要の低迷や消費の縮小などの課題に対応していくため、県内外で活躍するデザイナー等との連携を通じて、県内事業者の新商品の開発を行うとともに、事業者の規模に応じた商品の開発・改良から流通までの一貫したデザイン戦略を活用した支援を行い、大都市圏及び海外を視野に入れた販路拡大などの取組を推進します。

②（一部新）食の産業振興支援事業【基本事業名：32301 地域資源を活用した産業の振興】

予算額：(26) — 千円 → (27) 8,305千円

事業概要：世界の食の業界関係者等が集まる場「ワールド・オブ・フレイバー（WOF）」への参加、「みえ食のサミット」の開催などを通じて、三重県が有する豊富な食材や多様な食文化・食空間について国内外へ情報発信を行うとともに、関係者間の情報共有や交流を深め、さらなる「食」に関する産業の振興につなげます。

③ミラノ国際博覧会出展事業【基本事業名：32301 地域資源を活用した産業の振興】

予算額：(26) 8,684千円 → (27) 63,435千円

事業概要：ミラノ国際博覧会に出展することにより、三重県にある自然、食、豊かな文化等多様な魅力について情報発信し、ヨーロッパ等からのインバウンドの拡大や、海外への販路拡大につなげます。併せて、ミラノ市内において、食に関する業界関係者や消費者に対して販路拡大につながる取組（B to B、B to C）を行います。

④（新）サミット関係閣僚会合関連事業【基本事業名：32301 地域資源を活用した産業の振興】

予算額：(26) — 千円 → (27) 30,005千円

事業概要：2016年に日本で開催予定の主要国首脳会議（サミット）関係閣僚会合の本県での開催に向け、本県の知名度向上や地域の受入体制整備、開催機運を盛り上げるため、PRや関連イベントを行い、会合の開催及び関係者の受入を円滑に進めます。

⑤（新）全国菓子大博覧会・三重開催支援事業【基本事業名：32301 地域資源を活用した産業の振興】

予算額：(26) — 千円 → (27) 30,383千円

事業概要：平成29年4月から5月にかけて伊勢市で開催される第27回全国菓子大博覧会に向けて設立される菓子博実行委員会に参画し、テーマである『お菓子がつなぐ「おもてなし」を世界へ』をコンセプトに、地域文化の向上、地域産業の振興を図るとともに、三重県の「食」の産業振興にもつなげていきます。

⑥経営人材育成ネットワーク支援事業【基本事業名：32302 新たなビジネスの創出等の促進】

予算額：(26) 7,500千円 → (27) 7,593千円

事業概要：グローバル化が進展し、社会構造が変化する中、世界市場を見据えた経営者や次世代経営者を主たる対象に、一流の講師陣を招き、時代認識力や世界潮流を読み解く力を育成するとともに、参加者である様々な業種の経営者等が相互に交流し人的ネットワークを構築する場を創出します。

⑦ステップアップ経営向上計画支援事業【基本事業名：32302 新たなビジネスの創出等の促進】

予算額：(26) 31,089千円 → (27) 35,414千円

事業概要：県内中小企業・小規模企業の経営向上に対する取組を促進するとともに、中小企業・小規模企業の挑戦を後押しするため、経営課題の抽出・発見やその解決に向けた取組、さらには新事業展開等を行う中小企業・小規模企業に対し、商工団体等関係機関と一体になって、三重県版経営向上計画の作成やブラッシュアップ、フォローアップを行います。

⑧（一部新）ICT利活用産業活性化推進事業【基本事業名：32302 新たなビジネスの創出等の促進】

予算額：(26) 1,643千円 → (27) 1,792千円

事業概要：ICTを活用して、住民・観光客の満足度向上や産業振興、地域活性化につなげていくための「みえICTを活用した産業活性化推進協議会」を運営し、ICT・ビッグデータ（自治体・住民・観光客等からもたらされる情報）等を活用した観光・健康分野などにおける新たなビジネスモデルの創出に向けた取組を進めます。また、食のクラスター形成に関し、ICT・ビッグデータの効果的な活用に向けた課題について検討を行います。

⑨（新）スタートアップ支援事業【基本事業名：32302 新たなビジネスの創出等の促進】

予算額：(26) — 千円 → (27) 7,838千円

事業概要：県内の創業・起業を支援する人材の育成を行います。また、海外との連携プログラムを措置し、他県にはない特徴的なサポートプログラムを実施し、個々の起業者・創業者の実情に応じた、起業・創業の取組を促進します。

⑩商店街等活性化支援事業【基本事業名：32303 地域の特性に応じた商業の振興】

予算額：(26) 10,878千円 → (27) 8,324千円

事業概要：まちづくりと一体となって商店街を活性化していくため、商店主等のネットワークづくりを支援するとともに、商店街の魅力づくりについて、地域住民・事業者・関係団体・市町・県等が連携して取り組みます。また、商店街が地元住民などとともに行う地域活性化のためのプロジェクトや、まちゼミなどの販売力向上につながる取組、商店街が空き店舗を活用して創業者の育成を行う取組に対して支援します。

⑪（一部新）中小企業金融対策事業【基本事業名：32304 経営基盤の強化】

予算額：(26) 735,616千円 → (27) 620,131千円

事業概要：県内中小企業・小規模企業の金融の円滑化を図るため、金融機関の協力を得て、信用保証制度を取り入れながら、県単融資制度を運用し、中小企業・小規模企業の維持・発展を図ります。

⑫地域特性活用促進事業【基本事業名：32304 経営基盤の強化】

予算額：(26) 7,209千円 → (27) 4,752千円

事業概要：地域の小規模企業等が共通して抱える課題を解決するため、商工団体が地域特性を生かして行う小規模企業の販路開拓や創業・第二創業促進の取組を支援します。

⑬小規模事業者支援連携プロジェクト推進事業【基本事業名：32304 経営基盤の強化】

予算額：(26) 8,047千円 → (27) 6,158千円

事業概要：地域の雇用や社会を支える小規模事業者を支援し、地域経済の活性化を図るため、商工団体等と連携して、さらなる現場ニーズの把握、個別課題解決の支援等を実施するとともに、小規模事業者等が連携して行う商品開発等の取組を支援します。

⑭みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会運営事業【基本事業名：32304 経営基盤の強化】

予算額：(26) 1,846千円 → (27) 1,422千円

事業概要：地域の実情に応じた中小企業・小規模企業振興を具体的かつ計画的に推進するため、地域ごとに設置された「みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会」において、中小企業・小規模企業の振興に関するテーマや、中小企業・小規模企業が抱える課題の把握、解決策の検討等を行います。

⑮（新）中小企業・小規模企業地域課題解決プロジェクト支援事業

【基本事業名：32304 経営基盤の強化】

予算額：(26) — 千円 → (27) 6,004千円

事業概要：「三重県中小企業・小規模企業振興条例」の施行にともない県内5地域に設置された推進協議会が取り組む、それぞれの地域における地域課題解決に向けたプロジェクトに対して支援します。

⑯（新）産業ひとつづくり事業（再掲）【基本事業：32204 産業技術人材の育成と確保】

予算額：(26) — 千円 → (27) 8,105千円

事業概要：県内の産業振興のためには、県内常用労働者の約2/3が従事しているサービス産業の競争力強化が必要であることから、サービス産業の中核人材の育成などに取り組みます。